



作者の言葉
我が百合丘ロータリー
のシンボルマーク百合の花は
地名に由来する様には
この多岐上はのち
に思ふ大出立でこそ
知る化の流によりは
され少くもなれば
そよよ初夏も
ちると散策する
小径にその香は
清く涼しい
清純な乙女を感
ぜよよある
昭和五十四年春吉日
大矢五

Weekly Report

2016～2017年度

平成28年10月18日(火) 第1832回例会

◆会長：北島 克己 ◆幹事：親松 裕明 ◆会報：中村 和広

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第1832回例会記録 平成28年10月18日(火) 15/48回

<点鐘> 北島会長

<ソング> それでこそロータリー

<お客様ご紹介> 北島会長
川崎RC 白井勇様

<会長報告> 北島会長

1. 地区大会本会議 新会員登壇の案内
11/12(土) 15:20～15:30 14:50集合
パシフィコ横浜会議センター地下1Fフォワイエ
該当する方にはすでにお願ひしてありますので
よろしくお願ひいたします。
2. クラブ雑誌委員長会議開催の案内
11/24(木) 15:00～17:00
メモワールプラザソシア21
大矢会員に依頼しました。
3. 【再度】ロータリーリーダーシップ研究会(RLI)
パートI 開催の案内
10/30(日) 9:30～17:30 17:30～懇親会
聖光学院中学高等学校
4. 2017年アトランタ国際大会 第2590地区国際大会
旅行プランの案内
5. 麻生区安全・安心まちづくり協議会より研修会「薬
物乱用の恐怖～買わない、使わない、かかわ
らないために～」の開催について案内・安全パト
ロール物品の貸し出しについて
11/7(月) 13:00～ 麻生区役所4F

<幹事報告> 親松幹事

- *近隣クラブ例会変更
川崎中原RC、川崎北RC、川崎マリーンRC、
新川崎RC
- *会報着
川崎南RC、ロータリー米山奨学会

<ニコニコ委員会> 安藤亨委員

川崎RC白井勇様→「いつもお世話になります。ゴルフ会、ご苦労様でした」。当クラブより、北島会長→「本日、社会奉仕委員長、国際奉仕委員長委員会報告宜しくお願ひ致します」。親松幹事→「本日、チャリティーゴルフに参加の方お疲れ様でした」。古澤会員→「昨日、テレビ東京、モーニングチャージに弊社製品が紹介されました」。畠山会員→「家内の誕生日に素敵なお花をプレゼント頂きありがとうございました。おかげさまで、またこの一年間夫婦円満で過ごせます。ありがとうございました」。以下、感謝をこめてニコニコへ。赤本会員、安藤美恵子会員、安藤志子会員、福家会員、井上久会員、井上勇会員、鴨志田会員、金子会員、小林会員、小塚会員、中島健児会員、中島眞一会員、中村会員、野島会員、大矢会員、尾崎会員、坂井会員、白井会員、菅会員、渡邊会員、結城会員、安藤亨会員。

<出席委員会> 結城委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1832回	42	29	13		69.05%
第1831回	42	32	10	3	83.33%

- 第1834回 11月1日 招聘卓話 財団関係者
- 第1835回 11月8日 招聘卓話
- 第1836回 11月12日 地区大会 パシフィコ横浜会議センター

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	27件	33,000円	412件	459,080円
財団	0件	0円	14件	192,000円
バネファクター	0件	0円	0件	0円
米山	1件	10,000円	16件	210,000円

<米山奨学委員会>

井上久会員→「前回の例会は孫の幼稚園の運動会見学の為欠席させていただきました。遅ればせながら協力させて戴きます」。

本日のプログラム

<委員会報告>

社会奉仕委員会

渡邊委員長

社会奉仕委員長会議において「クラブ社会奉仕活動の課題と展望について」のグループディスカッションが行われました。

1~8グループから以下のような意見が出されました。

- ・継続事業が長いと関心が少なくなり、参加者が減少する。
 - ・事業をどこで他に移管するかのタイミングが難しい。
 - ・事業を通じロータリーの広報をどうするか、参加型の企画立案(地元との)が必要である。
 - ・活動の見直しとクラブの活性化を考える。
 - ・補助金の活用を検討する。
 - ・ロータリーを、どうすればアピール出来るか。クラブをどう発信するか。
 - ・会員数の少ないクラブは、補助金等は合同で提案したらどうか。
 - ・新規事業はニーズの調査をしっかりと行う事が成功のポイントである。
 - ・防犯カメラの設置等で犯罪の抑止等の効果を高める。
- また「クラブ社会奉仕事業アンケート」回答についてお知らせしたいと思います。

アンケートについては2016~17年度は第2590地区の全てのクラブ、57クラブより回答がありました。

①総事業数 :219件(昨年168件)

②事業内容

- A:人道的福祉活動。平和、国際親善、教育、医療、授産、貧困などに関するもの。73件(33%)
- B:文化的スポーツ活動。展覧会、音楽会、芸術交流会、歴史学習、野球、武道等。30件(14%)
- C:社会的活動。街づくり、経済発展、交通、景観、公園、治安、観光に関するもの。116件(53%)

③新規事業 :28件、12.7% (昨年は18件、約10%)

④継続事業:191件、87.3% (昨年は141件、約84%)

⑤継続年数 :1~3年…21件(昨年21件)、4~9年…34件(昨年46件)、10年以上…68件(昨年56件)

⑥1クラブ事業数

0件…0クラブ(昨年1クラブ)、1~2件…16クラブ(昨年20クラブ)、3~4件…18クラブ(昨年21クラブ)、5件以上…21クラブ(昨年14クラブ)

以上の結果から、多くの事業を継続しているクラブが多い傾向にあることがわかりました。



国際奉仕委員会

安藤亨委員長

年初に各クラブの状況、活動内容、方針についてアンケートがあり、集計結果がホームページに載っておりますのでご覧ください。

現在43クラブが国際奉仕を実践しています。そのうちの73%が現段階において予定通り進んでいるようです。

国際奉仕を実践する上で参考とするため、様々な事例の紹介がありました。

①横浜緑RC

ブラジルの学校に柔道着を320着(古着)を送りました。フィリピンにも古着を送りました。

②新横浜RC

南アフリカの学習支援活動。中高の生徒に対し年間1人1万5千円を支援しています。130名の子供に対して支援を行っています。他の20クラブの有志の方の参加もあります。問題点としては遠いので支援した子供の成績など、結果報告が大変難しいようです。

③横浜戸塚中央RC

ミャンマーの医科大奨学生支援事業を行っています。年間2名で月に100ドルの支援です。

④横浜保土ヶ谷RC

JMASという組織がありパラオ、アンゴラに置いてしまった地雷を取り除く方法を現地の人に教えるという活動の支援をしています。

⑤横浜南RC

パレスチナ、イスラエルの高校生の交換留学を行っています。女子学生を小菅に招き里山体験をします。旅費や滞在費で1人30万円ほど必要なようです。

ネパールの大地震について米山学友会の副会長であり、ネパール人のバクタ・バイクンダ君から支援要請がありました。大地震の後、都市以外の場所では救急車が全くないなど復興が遅れています。学生支援。壊れてしまった学校の復興。コミュニティ(村)の復活。

これらの支援の要請がありました。

